

# 3月の政治・経済イベント

## 重要 01 雇用回復の遅れと期待インフレ率の高まり

世界的に新型コロナウイルスの感染拡大ペースが鈍化し、欧米諸国などでワクチン接種が徐々に進んでいることや各国の金融・財政両面での景気下支え策などにより、経済正常化の期待は高まっています。ただ、コロナ禍等による構造変化の影響を大きく受けた産業では雇用の回復が遅れているようです。一方、エネルギー、原材料の価格の上昇などから金融市場ではインフレ期待が台頭しており、高い失業率とインフレ率の上昇が併存する可能性には注意が必要です。

## 重要 02 主要国・地域の金融・財政政策

日米欧などで金融・財政政策によって景気を下支えし、雇用回復を図る方策が打たれてきましたが、経済の正常化が近づく一方でインフレ期待が高まってきたことで、政策の軌道修正を考えるべきではないかという見方が、政策担当者や金融市場から出てくる可能性があります。米バイデン政権の財政政策や、3月に行なわれる日米欧の金融政策を決定する各会合が注目されます。

## 重要 03 各国のワクチン接種状況とワクチンの有効性

欧米諸国などでワクチン接種が徐々に進んでいるのに対し、日本では2月17日に医療従事者の先行接種がようやく始まった段階です。今後は遅れを取り戻せるかが注目されます。また、先行して接種が進んでいる国では、変異株に対するワクチンの有効性が明らかになってくる可能性があります。それによって活動制限措置の緩和の進め方が変わり、経済正常化のスピードにも影響することが考えられます。

### 3月の主な政治・経済イベント

	国・地域	予定
1日(月)	日本 	法人企業統計（10-12月期）
1日(月)	米国 	ISM（サプライマネジメント協会）製造業景況感・支払価格指数（2月）
5日(金)	米国 	雇用統計（2月）
10日(水)	米国 	消費者物価指数（2月）
11日(木)	ユーロ圏 	金融政策発表
15日(月)	中国 	鉱工業生産指数、小売売上高、固定資産投資（1、2月合計）
17日(水)	米国 	金融政策発表
19日(金)	日本 	金融政策発表
26日(金)	米国 	個人所得、個人消費支出、個人消費支出デフレーター（2月）
30日(火)	日本 	失業率、有効求人倍率（2月）

上記は、すべて現地時間で作成しており、作成時点で利用可能な最新の情報を用いておりますが、発表日は変更される可能性があります。  
(出所) Bloombergデータ等より野村アセットマネジメント作成

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目録見書）の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。